# これからの梨の栽培管理について（第１号）

令和３年２月１６日
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

## 1　貯蔵花粉の発芽試験を実施します

| | 受付月日 | 受付時間 | 受付場所 | 結果の報告 |
|---|---|---|---|---|
| (旧)第１選果場管内 | ３月１７日(水) | 午前９時～１０時 | 梨会館 | 受付翌日に梨会館入り口 |
| (旧)第２選果場管内 | ３月１８日(木) | 午前９時～１０時 | 梨会館 | 受付翌日に梨会館入り口、（射水市は別途対応） |

## 2　病害虫対策について

### （１）黒星病対策（落葉処理・芽基部病斑除去）

①落葉処理の実施面積率は、現在９５％程度となっています。

②なお、３月から落葉からの胞子飛散が始まるので、２月末を目途に、処理後の園地内（特に園地周囲、幹元）や周囲の側溝などに葉が原形のまま残っていないか、確認を行って下さい。（必要であれば、落葉処理を再度行って下さい。）

③りん片脱落期に枝をふるってもりん片が落ちない芽や枯れたりん片が残っている芽は、黒星病罹病芽の恐れがあるので切除して処分して下さい。

④黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、摘み取って園外に持ち出して適正に処分して下さい（特に受粉前に作業の徹底を図りましょう）。

※黒星病対策は、平成 28 年１月に配布された「呉羽梨黒星病対策指針」や「黒星病Ｑ&Ａ集」、一昨年秋に配布された「落葉処理マニュアル」なども参考にして的確に取り組みましょう。

＜落葉処理が不十分な園地例＞
ロータリーの走行速度が速く、爪も深すぎて、葉が原型のまま浮き上がっている

### （２）農薬防除の実施について(昨年、カイガラムシ類、ハダニ類が多かった園地を対象とした特別防除)

【病害虫対策】下記の農薬のうち、どちらかを選択してください。

| 散布時期 | 薬剤名 | 主な対象害虫 | 濃　度 | 10a 当たり散布量 | 防除実施日 |
|---|---|---|---|---|---|
| ２月下旬（休眠期） | 機械油乳剤 95 | カイガラムシ、サビダニ、ハダニ類及びその越冬卵 | 20 倍 | 200～300 ﾘｯﾄﾙ（十分量） | |
| | アルタベール フロアブル | ハダニ類、クワコナカイガラムシ、黒星病 | 40 倍 | | |

【注意事項】
- 機械油乳剤 95 およびアルタベールフロアブルは、樹勢低下が懸念されるので、樹勢が弱っている樹や連年での使用は控えてください。
- 散布は暖かくて風のない日を選んで行ってください。
- 発芽後の散布は薬害の恐れがあるので、必ず２月中に散布してください。

### （３）耕種的対策の実施

粗皮の隙間にはナシヒメシンクイやハダニ類等が越冬しています。粗皮削りを積極的に行うとともに、輪紋病のイボ皮も削り落しましょう。

## 3　誘引・花芽整理

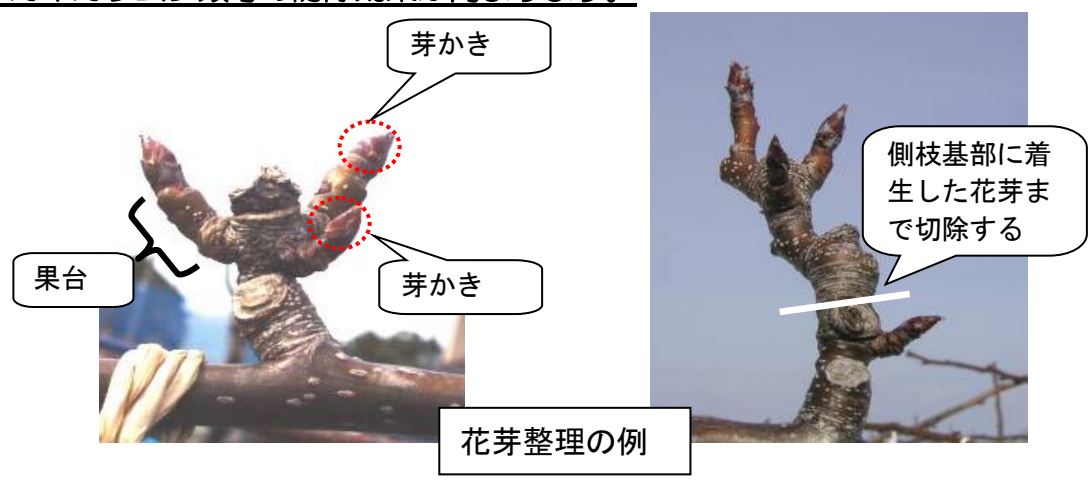
### （１）誘引（棚付け）

- 側枝間隔は 40cm 程度を基準に、枝が交差しないように配置するとともに、弓なりにならないよう、棚に水平に誘引しましょう。
- 側枝バランスの目安として、「幸水」は長果枝 50%、２年生側枝 30%、３年生側枝 20%、「豊水」は長果枝と２年生以上の側枝の比率が１：２程度になるよう、古い側枝を積極的に更新しましょう。
- 予備枝は、優良な長果枝育成に重要であるとともに樹勢維持強化にも役立つので、できるだけ多く配置するように心がけて下さい。

### （２）花芽整理

● 目　　的：短果枝や短果枝群（しょうが芽）上に複数ついている花芽の中から余分な花芽を整理することで、開花・結実時の貯蔵養分の消耗が少なくなるとともに、その後の摘蕾、摘果作業の省力化につながります。
また、薬剤の透過性も向上し、黒星病やカイガラムシ類等の防除効果が高まります。

● 整理方法：側枝の外側を向く充実した花芽１個を残し、その他は果台を残して花芽をかき取る（台座が長い短果枝群は基部近くまで切除する）。また、下芽、弱小花芽は他に十分花芽がある場合には切除する。



花芽整理の例

## 4　凍害対策

苗木～４年生程度までの樹は、発芽前頃（３月中下旬～４月初旬頃）から急速に耐凍性が弱まり、抵抗力が低下します。凍害は、日中の気温（１５℃以上くらい）が高くなり、朝の気温が－２～－３℃程度まで下がる時期に発生しやすくなります。今年は２月から気温が高い日があるので、早急な対策が必要です。

凍害を受けると苗木や若木は樹勢低下や枯死につながる場合があるため、下記の凍害対策を行ってください。

＜具体的対応策＞

● アルミ蒸着シートの巻き付け（日中の温度上昇の抑制）
主幹部の地際から 80cm 程度の高さまで、アルミの面を外側にして巻き付ける。使用する資材は厚さ１～２mm程度の緩衝資材の片面にアルミ蒸着されているもの（ホームセンター等で購入可）。

● わら巻き（保温）
上記と同様に主幹部にわらを巻く。まとめて仮植してある場合は、コモ等を巻いて保温に努める。

アルミ蒸着シートの巻き付け

わら巻き

## 5　春肥の施用

春肥は３月中下旬頃を目安に施用しましょう。

＜１０ａ当たり施用例＞

例１　ＢＭ有機果樹専用(8-7-7)　１００kg（成分量　窒素８．０kg、リン酸７．０kg、カリ７．０kg）
例２　なのはな梨配合(7-7-3)　　１００kg（成分量　窒素７．０kg、リン酸７．０kg、カリ３．０kg）

## 6　開花予想

１月の平均気温は２．３℃（平年比－０．４℃）とやや低温となりましたが、２月に入ってからは平年よりも高温傾向です（２月２半旬までの平均気温は３.７℃（平年比＋1.４℃））。

２月１５日現在の開花予想日は右表のとおりで、ほぼ平年並みの予想となっていますが、今後の気温に大きく左右される可能性があります。

最新の情報については今後発行する特報や梨メールでご確認ください。

２月１５日時点の開花予測

| | 令和３年予想 | |
|---|---|---|
| 品種名 | 開花始め | 満開日 |
| 幸　水 | 4月18日 | 4月21日 |
| 豊　水 | 4月15日 | 4月18日 |
| あきづき | 4月16日 | 4月18日 |
| 新　高 | 4月12日 | 4月15日 |

※今後の気温が平年並みに推移した場合

## 7　農業サポーターがお手伝いします

平成１８年よりサポート活動を開始して以来、農業者の皆さまのご支持を得て、梨の摘果作業などにおいてサポート活動を行っています。昨年は１８名の梨生産者の方がのべ８８８人のサポーターを活用されています。（主な活動内容：人工受粉、摘果、収穫等）

農繁期に人手が足りずお困りの方や、年間を通じてサポートが必要な方は、下記までご相談ください。

【お問い合わせ】　特定非営利活動法人(NPO 法人)　里山倶楽部（サポート業務窓口；tel.076-411-4401）
富山市農林水産部営農サポートセンター（tel.076-429-4504）